

司法支援建築会議全体会議シンポジウム

〈開催主旨〉

司法支援建築会議は2000年6月に会長直属の会議体として設置され、現在まではほぼ13年経過しています。この間裁判所に鑑定人・調停委員等候補者の推薦、裁判所との情報交換、講演会の開催や出版活動など多彩な活動を展開してきました。今後もこのような活発な活動を展開し社会貢献を続けるには、設立から10年ほどたった今の時点で当支援建築会議の役割や機能を再確認して、会員の皆様と今後の展望について共有する必要があります。

今回のシンポジウムでは、まず基調講演として裁判官の方に、司法制度の概略についてご説明いただくとともにそれを踏まえて司法支援建築会議がどのような制度とかかわっているのか、またなぜ司法支援建築会議が必要なのか、具体的にどんな役割を担っているのかなどについて、説明していただくことで当支援建築会議の司法制度における意義を改めて考え直す機会にします。

この基調講演を踏まえ、パネルディスカッションでは当支援建築会議の活動について、これまでを振り返るとともにこれからについて考える一契機にします。具体的には司法支援建築会議の活動は、これまで裁判所における建築紛争の解決に役立ったのか、役立ったとすれば具体的にどのように役立ったのか。また、現状に問題点はないか、裁判所での紛争解決だけでなく、ADRも含め、より進化した紛争解決に向けて司法支援建築会議が進むべき方向性、司法支援建築会議に今後望むことは何かなどについて、実際に調停や鑑定を経験した建築専門家の方々を中心に、司法支援建築会議歴代の運営委員長や建築裁判等に携わる裁判官、ADRに携わる国土交通省の方々から感想、意見、期待などを述べていただきます。

当支援建築会議会員、学会会員、司法支援に興味を持たれる多くの方々のご参加を期待します。

〈主 催〉日本建築学会司法支援建築会議

〈日 時〉2013年5月15日(水) 14時10分～17時

〈会 場〉建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)

〈プログラム〉

司 会 大森文彦(運営委員/大森法律事務所)

記 録 宇於崎勝也(運営委員:日本大学)

1. 開会挨拶:

上谷宏二(運営委員長/摂南大学)

(10分)14時10分～14時20分

2. 基調講演(案):「司法支援建築会議は、司法制度の中で、どのように役立っているか」

福田千恵子(最高裁判所事務総局民事局第2課長)

(30分)14時20分～14時50分

3. パネルディスカッション「司法支援建築会議のこれまでとこれから」

(90分)14時50分～16時20分

(1) 今までの司法支援活動と今後の展望

平山善吉(日本大学名誉教授)

仙田 満(東京工業大学名誉教授・環境デザイン研究所会長)

小野徹郎(椋山女学園大学教授・名古屋工業大学名誉教授)

(2) 支部における司法支援活動と今後の展望

井野 智(北海道大学名誉教授・北海道情報大学名誉教授)(北海道支部)

- 岡部 功（昭和設計代表）（東海支部）
高幣喜文（タカヘイ建築技術研究所）（近畿支部）
(3) 裁判所から、これまでを振りかえり、今後に期待するところ
福田千恵子（最高裁判所事務総局民事局第2課長）
(4) 建設工事紛争審査会から、今後に期待するところ
梶原輝昭（国土交通省土地・建設産業局建設業課 紛争調整官）

（会場からの質疑）※質問票をフロアから受付け

（30分）16時20分～16時50分

6. まとめ・閉会

（10分）16時50分～17時

田中淳夫（宇都宮大学名誉教授・田中淳夫研究室）

<参加費>無料

<定員>200名

<申込方法>：FAX または E-mail にて「催し物名称、会員番号、氏名、勤務先・所属、電話番号」を明記のうえ申し込む。

<問い合わせ>司法支援建築会議事務局 川田昭朗

TEL：03-3456-2053 FAX：03-3456-2058 E-mail：kawata@aij.or.jp

以上